

姉妹都市

Sister Cities



サーモンアーム

No. 10
2005. 1



04. 4. 3・さよならパーティーにて

日本の伝統文化「茶の心」を伝えて

—東とサーモンアームの交流に一応のピリオド—

新市誕生をひかえ、今回のさよならパーティーをもって東町のホストイベントが終わりました。

セレモニーの後、恒例となった新東小の下座、コーラスグループ・ブルーエコーの発表などがある中、おもいおもいが交流の輪を広げていきました。

今回はホールの一隅に設けた即席の小さな茶席が人気でした。カナディアンが、和菓子を食み、抹茶を飲む姿は見ていてほほえましいかぎりでした。その様子を表紙の写真がばっちり捉えました。カナダの女生徒の和服姿もなんとさすがしいこと。

8月の派遣は、中高生と大人の訪問となりました。これ又最後とあって何かしら一抹の淋しささ感じました。

15年にわたった姉妹都市交流に関った人達は双方で500余人にものほりました。他町村にはあまり類のない成果として誇りに思います。この交流は一応のピリオドを打つ時がきましたが、更に新市に引き継いでいてもらいたいと思います。

最後にこの交流に深く関った故成毛町長と現坂本町長はじめ、東町及びサーモンアームの関係者のみなさんに心からお礼申し上げます。



楽しかった日々

親善大使派遣団長 飯塚 幸一

今回の親善大使は、全員中学生。1年生5名(内男子2名)2年生3名の8名でした。とても活発な子供達で、その使命は十分に果たせたのではないかと思います。私も3回目の訪問となり、旧知の友人が多く毎日温かい歓迎を受け、楽しい日々を送ることができました。

この10年の間にサーモンアームはたいへん都市化が進んだ様に思います。住宅もたくさん増えました。でも住む人と自然は変わりませんでした。感謝。感謝。



水飼美香



高城沙織



藤ヶ崎友実

中川弥紀



板橋友里



飯塚幸一



戸塚雅子



篠田優子



奥澤 亮

依知川大河



木内仁美



第13回 青少年親善大使派遣団名簿

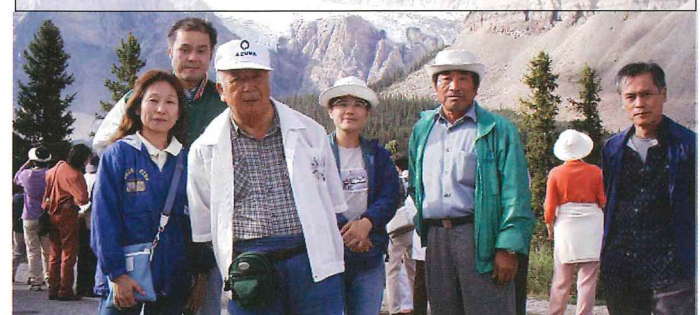
団長 飯塚 幸一 (姉妹都市交流委員会)
指導員 戸塚 雅子 (東中学校教諭)
通訳員 篠田 優子 (総務課事務局)
奥澤 亮 (中1 伊佐部) 依知川大河 (中1 佐藤組新田) 板橋 友里 (中1 東大沼)
木内 仁美 (中1 押 砂) 水飼 美香 (中1 阿波崎) 藤ヶ崎友実 (中2 押 砂)
高城 沙織 (中2 上須田) 中川 弥紀 (中2 八筋川)

2004 サーモンアーム派遣団

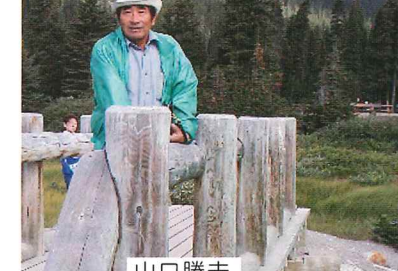
親善大使派遣団 (8.17~8.27)
一般訪問団 (8.17~8.23)

第5回 姉妹都市一般訪問団名簿

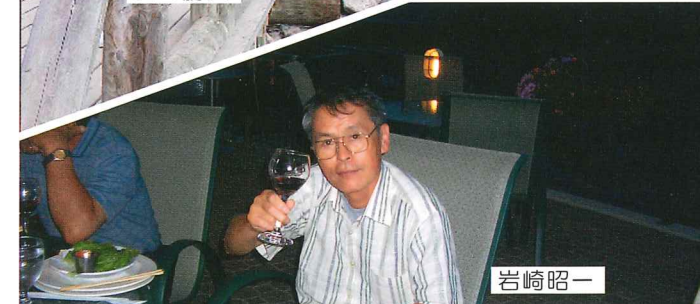
団長 山口 勝夫 (市崎: 姉妹都市交流委員会)
村田 義明 (結 佐) 岩崎 昭一 (阿波崎) 宮本 正之 (釜 井)
奥澤みどり (伊佐部) 飯塚 圭子 (伊佐部)



奥澤みどり



山口勝夫



岩崎昭一

4年ぶりにサーモンアーム市を訪問して



一般訪問団長 山口 勝夫

本年4年ぶりに訪問団の長としてサーモンアーム市を訪れました。姉妹都市の調印を行ってから、15年を迎えます。我が町も稲敷市に移行し、又サーモンアーム市も創立100周年を迎えるとのことでした。

私はこれからの交流事業の事等を話し合いたいと思い参加致しました。幸い参加者の皆さんの協力のもとにほぼ満足の得られる話し合いが出来たと思っております。これからも交流事業を続けてゆくためご協力をお願い致します。



飯塚圭子

わすれじのサーモンアーム

飯塚 圭子

一言では言い尽くせない雄大な大自然。素朴でゆったりとしたカナダ・サーモンアームの街並と人々。短期間の訪問でしたが忘れることのできない貴重な経験をする事ができました。機会を与えられ感謝しております。



村田義明



宮本正之

さらなるステップアップを目指して

第四回親善大使

幸田 永 長 恵

今、私は英会話に通って沢山のネイティブスピーカーに英語を習っています。『なぜ英語を話せるようになりたいの!?』と聞かれることがあります。その時は決まってサーモンアーム市にホームステイをした時の事を話します。『日本にいたら経験できないような貴重な体験で、その一つ一つがとても新鮮で楽しい事ばかりだった。でも、心残りなのはジェスチャー混じりの会話しかできなかった事。だから英語を話せるようになりたい!』と答えます。

サーモンアーム市と東町の姉妹都市交流により二倍の異文化コミュニケーションを経験させていただいた事に感謝しています。そして、間もなく町村合併を迎えますが、これからも多くの人が国際交流を深めていければと思っています。

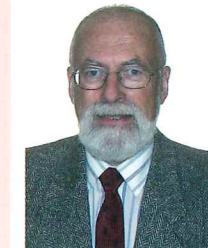


左端が永長さん

姉妹都市交流を振り返って

ウィケット・イアン

The twinning of Salmon Arm and Azuma has deepened my understanding of the world, brought Japanese culture into my life, and introduced me to many wonderful and hospitable people. Our community has a broader perspective and our young people have learned the joys of travel and discovering another way of living and new friends. Mayor Naruke and Mayor Sakamoto have demonstrated strong leadership in strengthening relations between our communities and I have greatly appreciated their support. I have particularly enjoyed the peace and serenity of Japanese gardens, the simplicity of Japanese architecture, and the formal, yet warm, manner in which people treat each other. In spite of the lack of a common language, we have shared many laughs and enjoyed each other's company. I know that the people of Salmon Arm have treasured the exchange and relationship with the people of Azuma. The present council has affirmed our desire to continue twinning with your community as you move into a new municipality. I look forward to many years of enjoying visits and sharing with old friends and new from the other side of the Pacific Ocean.



〈プロフィール〉

前市長。現在は会社経営。
1996年訪問団、故成毛町長の町葬など、
これまでに二度来町。

〈要旨〉

サーモンアーム市と東町の交流は、日本の文化を私にもたらし、親切な人々を紹介してくれました。故成毛町長、現坂本町長には偉大なリーダーシップを発揮していただき心より感謝申し上げます。私は、日本固有の伝統文化、人々の温かさを享受し、お互いに多くのことを共有でき、大変嬉しく思います。今後もこの交流が続くことを望んでいます。

Salmon Armの友人を迎えて

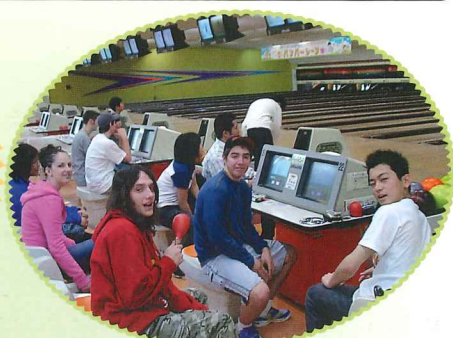
2004.3.28~4.4



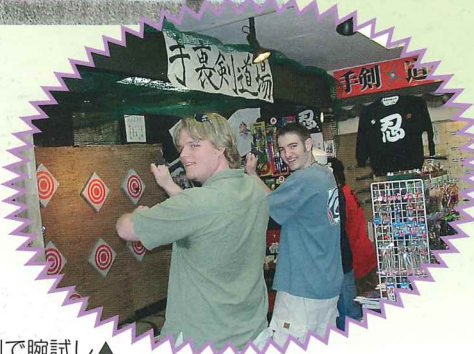
▲みんなの笑顔が
すがすがしい
新勝寺で



▲心待ちのディズニーランド
ディズニーランドで大暴れ!



▲ボーリングで和気あいあい



手裏剣で腕試し▲



▲近所寄り合い
みんなで
リトルバー
ティーを

◆ホストファミリーの皆さん◆

奥澤 亮 (小6 伊佐部)	黒田 和城 (中1 伊佐部)	坂本 直基 (中1 八筋川)
黒田 和秀 (高1 伊佐部)	水飼 美香 (小6 阿波崎)	水飼 彩乃 (小6 阿波崎)
高城 沙織 (中1 上須田)	廣瀬美紗紀 (中1 市崎)	小林 望 (中3 潮来市)
船串久美子 (高2 桜川村)	荻沼あき菜 (高3 阿波崎)	根本あゆみ (大3 西代)
柏谷菜摘美 (一般 下須田)	鳥羽 悦子 (一般 伊佐部)	塚本みち子 (一般 河内町)
村田 義明 (一般 結佐)	吉田 薫 (一般 伊佐部)	吉田 浩二 (一般 結佐)
小川喜三雄 (一般 光葉)	財部二千六 (一般 光葉)	(※学年は当時)

INFORMATION

○姉妹都市交流委員会にご加入を!

姉妹都市交流委員会は、「稲敷市」誕生後も市と連携して姉妹都市派遣事業、ホームステイ受入事業など、幅広い文化交流の推進を展開していく予定です。新市での新たな委員会組織でも皆さんの会員としてのご参加を歓迎します。

○カナディアンロッキー作品展開催

サーモンアーム市との姉妹都市提携15周年、東町合併50周年を記念して2月1日から2月13日までの間、新設されたあずま生涯学習センターにおいて、カナディアンロッキーの大自然を描いた油彩画作品(横関新一氏作品)展を開催する予定です。

ぜひ友好国カナダの雄大な自然を描いた芸術をご覧下さい。(観覧無料)

編集後記

■東町とサーモンアームとの姉妹都市交流が始まって、はや15年。委員会機関誌を発行して10号を数えます。振り返れば時の経つのは早いもので15年、10号のくぎりの年に一つの大きなピリオドとなりました。友情の門、友情の家など考え深さひとしおです。

飯塚 幸一

■創刊号から広報の仕事に携わることができたことをうれしく思います。主に表紙を担当し、交流の経緯をダイレクトに知らせるのに頭を痛めました。紙面の都合もあり、十分に情報を掲載できず、もどかしさもありましたが、10号まで無事発刊できました。ご協力に感謝。

吉田多嘉子

■子から孫へと言語の多用化が要される今、広報の一員として加わり、皆さんのご協力を得ながら東町姉妹都市交流のあゆみを発信できました事、大変貴重な体験となりました。合併後も、皆さんのご意見、体験等を通してこの交流が広く親しまれ活かされる事を願います。

新里 清子

■カナダ訪問団と受け入れ家族の皆様の異文化体験の戸惑いや感激、ふれあいの喜びを4ページで伝えることの難しさを発行の毎に感じました。東町発最後の第10号が、新市の国際交流のかけ橋になってほしいと思います。ご指導下さった皆様ありがとうございました。

井上眞由美

■広報誌の編集に参加して3年余り、企画から校正、発行まで細かな作業が続き夜10時近くになることもありましたが、各委員の皆さんと楽しい雰囲気の中で仕事が出来たことは私にとって貴重な体験となりました。市制施行後も国際交流事業が発展しますよう祈っております。

小川 成子